

住民登録

(4月1日現在)

人 72,627 (-372)

男34,674

女37,953

世帯数 21,657 (-41)

()内は前月比

編集と発行 大館市役所



「火の用心」を呼びかけて10年

～相染町子供会～

「火のようじん、マツチ一本火事の元」子供たちの声と拍手の音が、夕暮れの町に響き渡っています。午後六時、町内会館前に子供らは集まっています。拍手木を持つののは六年生。カチカチと打ち鳴らすと、それにつづいてみんなが大きな声で「火の用心」と呼びかけます。時折、すれ違う大人たちが、「ごろうさん」と声をかけます。初めて参加する一年生は、一番後ろから、それでも誰にも負けまいと一生懸命声をはりあげます。相染町子供会が町内に火災予防を呼びかけてから十年経ちました。この間一件の火災も発生していません。こうした活動が認められて五十五年には全県で初めて「消防長官賞」を受賞しました。今年はいつもの年よりおよそ一か月早い四月十一日から始められ町が冬への旅支度を始める十月末まで続けます。

広報 歳時記

端午の節句

端午とは、月の初めの午(うま)の意で、五月初午の日をさしてありますが、中国の漢の時代になって、五月五日をいうようになり、五が二つ重なるので重五ともいいました。

この日が、男の子の成長を祝う日となったのは江戸時代以降ですが、古くは朝廷の騎射の行事、中世の流鏝馬(やぶさめ)、石合戦、たこあげ、競漕など、勇壮な行事が多く催されたためと考えられます。

武者人形を飾る習慣も、初めは疫病神をはらう意味でしたが、のちには男の節句の象徴の位置を占めるにいたり、男児の生まれた家では、石清水八幡宮が最初に売り出したとされる鯉のぼりが立てられるなど、男の節句が定着したのです。



5月5日は子供の日

五月の主な行事

- 1日(日)・メーデー
- 3日(火)・憲法記念日
- 同日(火)・同記念講演会(文化会館)
- 5日(木)・ラジオ体操開始会(桂城小)
- 10日(火)・愛鳥週間(16日)
- 11日(水)・春の交通安全運動(20日)
- 30日(月)・消費者の日